

更埴教育会だより

第2号 令和7年12月
文責 教育会あり方検討委員会

このおたよりは、全職員に配付しています。興味がわいた方、いつでも会員募集中です！

『参加者の願いがテーマ』 教育を語る会（7／29）

今年度の「教育を語る会」のテーマは、「参加者の『語りたい内容』に近づけたい」という願いのもと、会員アンケートを実施した上で決定されました。

「分散会1」では、「教育哲学に寄せて語ろう」を中心テーマのもと、4つの具体テーマについて語り合いました。これまで更埴教育会が積み重ねてきた「教育哲学の語り」が随所で見られる時間となりました。

「分散会2」では、「身近なテーマで語ろう」を中心テーマとし、参加者の願いにそった3つの具体テーマについて語り合いました。一人ひとりが、より主体的に普段の実践や思いを語ることができました。

多様性が大切にされる現代の教師として、自らの知識や経験だけにとどまらず、他者から広く学び、見識を深めようとする姿勢は必要不可欠なものであります。

「教育を語る会」は、そんな現代の教師にとってなくてはならない、貴重な研修の機会となっています。



よさ・課題の発見！

よさ

分散会のテーマは、会員のアンケートで決められる
ので、「語りたい内容」について語ることができます。



課題

「より魅力的なテーマ設定」により、参加者がさらに増える「語る会」にしたい。



よさ

同じ更埴で働く先生方の経験や考えにふれることで、自分の見識が深まったり、つながっている安心感をもてたりしました。

～参加された先生方の声～

「今、教育(教師)が果たす役割とは」は、難しいテーマでしたが、子どもの姿と教師の思い、願いをつなげて語り合いました。経験の豊富な先生や若い先生、色々な世代の先生と語るのは、**自分の教育学と向き合うことができて**、大切だと思いました。

信頼関係づくりがテーマでした。深い話題で答えが出ませんでしたが、自分にはなかった考えをお聞きできました。**期待しない、でもあきらめない、肩に力を入れすぎない**、という言葉が心に残りました。



普段関わらない先生と話すことで**子どもとともにつくる授業観**が変わった。自分のなかで大きな変化。若い先生の話を聞くことで自分の授業観が明確になった。

先生方の実践をお聞きしながら、**子どもたちが自分たちで学びを深めていくための教師の姿勢、心持ち、支援指導の在り方**について、学ばせていただきました。自分はどうだろう…と見つめ直し、2学期の子どもたちとの授業や活動に生かしていきたいと思います。

多様な子ども・保護者と日々向き合う中で、もっと自分自身をブラッシュアップしていく必要を感じています。その**必要感にジャストフィット**な「語る会」でした！

今まで、先輩方から背中を押していただき学んでこられたことを、どのように次につなげていくのか。**職能集団としての教育会はとても大切な場所**だと思います。

教育研究集会（9／6）

今年度67回目となる「更埴教育研究集会」が千曲市立屋代中学校で開催されました。会場の千曲市立屋代中学校では、前日から会場や駐車場の準備をしていただきました。当日は朝早くから地域の方も含めた大勢の参加者が集まりました。

8時半からの放送による開会式から始まった今回の教育研究集会は、それぞれ40分で行われるセッション1とセッション2の分科会、長野市出身のバイオリンパフォーマーの牧美花さんによる講演会が行われました。

分科会では、先輩や現場で共に働いている経験豊かな先生方から、現代の教育の課題や明日から活用できる授業実践などを伝えてもらいました。また、牧さんによる講演会では、「音楽とご縁に支えられて」という演題でバイオリンの演奏を交えながら講演してもらいました。

参加者同士で活発な意見交換がおこなわれた教育研究集会となりました。



よさ・課題の発見！

さまざまな講師の先生が、今まで培った知識・経験を惜しみなく伝えてもらっています。



PTA（保護者・地域の方）の参加が増えるとさらに良い会になるか。

教職員だけでなく、地域の方にも多く参加していただき、多様な考えにふれる能够になっている。

～教育研究集会に参加された先生方の声～

分科会I-E「平方根トランプ」

「の変換を楽しく身につける工夫がされていてとても面白かったです。芳川先生が日頃から生徒たちと共に楽しく学び合っていることがとても伝わってきて勉強になりました。体験したゲームは実際に生徒が考えたものということでしたが、平方根の値変換ができるようになるようよく考えられていて、「ただ覚える」ではない深い学びの姿を感じさせていただきました。

分科会III-R「今 求められる小中学生の情報モラル教育」

千曲市内の中小学生の8割がなんらかの形でスマートフォンを持ち、スマートフォンの使い方を親と子で再確認する必要性を宮原先生のお話から感じました。完全にスマートフォンを子どもに預けるのではなく、どういった使い方をするのかを子どもと一緒に話し合い、必要に応じてフィルタリングや利用時間の制限などをかけることが、大人の責任だと改めて痛感いたしました。

「牧 美花さんの講演会をお聞きして」

美花さんが人と関わる中で経験してきたこと、感じてきたことがヴァイオリンの音をつくっているのだと感じた。美花さんの素敵な人柄が、音の魅力につながっている。人との縁で人生は変わる。これから出会う人の縁を大切にしていきたいし、生徒と素敵な縁をつくれる教師でありたい。

教育研究会・研究推進委員会の活動の様子

体育科教育研究会 事務局の大日方政之先生（埴生小）より

今年度は長野県学校体育研究大会を更埴地区にて開催しました。授業は埴生小学校の小林聖一先生、屋代中学校の北澤潤一先生に公開していただきました。指導が難しいと思われるがちなサッカーやバレーボールをもとにした新しい教材を発表し、運動が苦手な子どもも教師もやってみたくなる授業を提案することができました。また、当日は170名ほどの参加者が集まり、児童生徒の具体的な姿に触れながら語り合いを深めることができました。『体育は専門の先生じゃないと…』と日頃の授業に困り感を感じている先生方、体育授業を通してみんなが幸せになる学級づくりや学校づくりに一緒に挑戦してみませんか？

数学教育研究会 事務局の大屋辰明先生（戸倉上山田中）より

今年度は、総会を春と冬で行い、夏と冬に研修会を行いました。長野県算数数学教育研究会が主催する研修会、公開授業にも参加しています。また、今年度は北信ブロック大会を更埴西中学校の松橋彰行先生による授業公開を行いました。生徒にとって身近な事象を学習問題として、生徒が対話しながら、理解を深めていく素敵な授業でした。会員の先生方には、お忙しい中、ご準備をしていただきました。ありがとうございました。今大会の運営に際しまして、更埴西中学校の先生方、数学科の先生方、授業者を提供していただいた松橋彰行先生にこの場をお借りして、感謝申し上げます。

道徳研究会 事務局の春日秀紀先生（戸倉上山田中）より

本研究会は、道徳授業に熱心な先生方から、「授業をどうしていいかわからない」と悩んでいる先生まで、どなたでも気軽に参加できる、とてもアットホームな雰囲気です。本研究会の強みは、①おいしいケーキを食べながらの和気藹々とした対話（日頃の悩みを共有）②日頃の実践や悩みを「思いのままに」語り合える場（立場を超えた率直な対話）③新たな実践への挑戦と県大会への団結力（「哲学対話」の研究や来年度の更埴大会準備）です。今年度も10月の県大会（諏訪大会）参加や12月の授業研究会を通して研究を深めています。道徳について語り合う楽しみを共有できる素敵なお研究会です。

会誌会報委員会 委員長の中村夕貴先生（坂城小）より

会誌会報編集委員会では、これまで3回の委員会を開催しました。今年度、会誌会報委員会専用のデジタルカメラを買っていただきました。そこで、委員で分担して、「教育会総集会」や「教育を語る会」で先生方の様子を撮影しました。また、今年度は、更埴教育会「会報第192号」、「会報193号」が既刊、「会報194号」および「会誌64号」を3月に発行予定です。

原稿を寄せてくださった先生方、お忙しいところありがとうございました。これから多くの会員の先生方に読んでいただけるよう、工夫を重ねていきたいと考えています。



よさ・課題の発見！

更埴体研は、「体育どうしよう？」と悩む先生も、仲間と語り合いながら授業づくりができる温かな会です。大学の先生方と連携し実践を深め、子どもも教師も学びやすい教材や教具もそろっています。



更埴算数数学研究会は、総会や研修会を通して学び合う活気ある会です。互いの実践を語り合い、授業づくりのアイデアや教材を共有しながら、日々の授業をより良くなしていく温かなつながりがあります。

会誌会報委員会

専用のデジタルカメラを購入！！

そこで、委員で分担して、「教育会総集会」や「教育を語る会」で先生方の様子などの撮影が可能になった。



道徳教育研究会では、「授業どうしよう？」と悩む先生も、おいしいケーキやコーヒーを囲んで「思いのままに」語り合える、アットホームな会です！

全郡研究特集

今年度は隔年開催の全郡研究が中学校単位で行われました。それぞれの会場校の創意工夫が見られた会となりました。開催された中からセレクトして、様子をお伝えします。

令和7年度の全郡研究会は、テーマを『主体的に学ぶ教職員のあり方と研修機会の創出』とし、会場校が各校で実施したい研修を企画運営し、先生方が受講したい講座を自由に希望できる研修をしました。各会場校やその地域の特色を生かし、新たな「かたち」での充実した研修の場にすることができました。

(令和7年度 全郡研究推進委員会委員長 長谷川良人先生)

更埴西中学校区

鹿革細工教室と地域ワイナリー見学の2講座を実施致しました。鹿革細工はSDGsの一環で活動をされている稻荷山の「Groover Leather」さんより、代表の徳永さんと職人の原田さんをお招きして活動しました。また、地域ワイナリー見学では千曲市初で八幡にできた「イルフェボー」さんの醸造所と畑を見学し、オーナーの落合さんから開設の経緯を学び、醸造家の北山さんにワインづくりについて教えていただきました。



屋代中学校区

ニュースポーツモルック体験、一重山登山、切り絵体験と3つの講座を企画しました。普段接することのない他校の先生方と交流し、リフレッシュする機会となつたとともに、児童生徒への指導に活かす研修となりました。



埴生中学校区

11月12日(水)に小中連携をテーマに埴生中で全クラスの「日常の授業」を公開し、埴生小を中心に多くの小学校の先生方による参観とその後の意見交換会を行いました。参加の先生方からは、日頃見られない中学の授業や専門外の授業を見る貴重な機会となつたこと、各教科の専門性をもつ中学の教員ならではの工夫が参考なったこと、発達段階や子供の特性に合わせた学びの在り方や小中の系統性について考えさせられたなどの感想が出されました。



戸上中学校区

さらしな縄文の里資料館にて、更級小学校伝統の縄文服をつくりました。参加された先生方のインスピレーションで色鮮やかな縄文服が完成しました。その後は、毎年10月に行われる縄文まつりで参加者全員が歌う「縄文の歌～祈り（縄文のムラに）～」を太鼓演奏。竪穴住居や高床倉庫、資料館内の見学も行き充実した時間になりました。皆様、ぜひ来年の縄文まつりにお越しください。



坂城中学校区

11月12日(水)に坂城中学校で組子細工体験会が行われました。講師に片山和人様をお迎えし、組子細工の紹介や職人の思いについて語っていただきました。参加者は実際に組子細工のコースターを作成しました。日本の伝統文化に触れる良い機会となりました。



よさ・課題の発見！

多くの先生方から「没頭できた」、「有意義な時間だった」と感想いただきました。

開催時期と時間をどうしようか？

地域資源の活用、伝統文化の体験、心身のリフレッシュと多岐にわたる研修講座が準備されていました。

他の学校の先生方と学び合いができる、大切なコミュニケーションの場になりました。